

芦間町散策マップ

芦間町は、南北に流れる山田川と小高い山々の間に肥沃な水田が広がるのどかな田園地帯です。下大門町から和田町に至る道路はかつて天下野街道として栄え、815年に始まり2022年に第200回を迎えた金砂神社祭礼の神輿はこの旧天下野街道を渡御します。古書には、佐竹氏第四代棟梁佐竹秀義が芦間に住んだという記述があり、江戸時代の八幡潰しを乗り越え市内に3社のみとなった八幡社の1社が現存します。歴史に思いをはせながら、豊かな自然をお楽しみください。



① 正覚院
一四一八年開基。石塚村金剛院の末寺で昭和初期まで住職がいた。昭和五三年に再建。



佐竹 秀義（一二五〇～一二五五）
「佐竹氏第四代棟梁」
西金砂山合戦（一一八〇）のまえ青春時代に芦間に住んでいたと伝えられている。場所は分かっていない。



② 八幡神社
祭神は応神天皇。一六九五年に柳町から移転。水戸藩の八幡潰し後市内に残る3社の1社。



③ 天下野街道と金砂神社祭礼
太田から天下野に至る要路として栄えた。石段下に道標がある。金砂神社祭礼の神輿が渡御し、この地で神事が行われる。



④ 柳町遺跡
土師器・須恵器などを出土。奈良・平安時代の集落跡と推定される。一九〇九年に石棺を出土し、祠を建てた。



⑤ 一本杉
昔この一帯は芦の生い茂る沼。杉の太木が立つ塚があり「女郎塚」といわれていた。遊女が入水し、墓印に杉を植えた。



⑥ 山下の鉄沓跡
八幡太郎義家伝説。義家が奥州征伐の帰路急坂で馬が前足をすべらせ岩にできた穴と伝えられる。



⑦ 男女石
北に向かって左側が男石、右側が女石。以前「東金砂神社」一の鳥居があり、神社に行けない信者はここで手を合わせた。



⑧ 道標
坂東三十三観音札所巡りの案内。二十一番目輪寺（八溝山）～二十二番佐竹寺間の道標。「右さたけへ一りはん 是よりやみそへ十四り」と刻まれている。

【凡例】 解説板 P 駐車場

2022年 芦間町会